

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	観光エリア振興室
	施策	観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2417
	取組方針	観光資源の掘り起こしと磨き上げ		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	温泉をいかした塩江地域の観光振興事業			

【事業全体概要】

事業概要	観光客のニーズや嗜好、競争環境の変化等に的確に対応し、地域の持つ魅力を向上させて塩江地域の活性化を図るため、平成29年3月に策定した「塩江温泉郷観光活性化基本構想」に基づき、温泉をいかした塩江地域の観光振興に努める。				
年度概要	・塩江道の駅エリア整備事業に係る業務				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	塩江温泉郷観光活性化基本構想

【事業の目的】

対象（何を）	塩江温泉郷への観光客
意図（どのような状態にしたいか）	平成29年3月に策定した「塩江温泉郷観光活性化基本構想」に基づき、良質な温泉資源や周辺の自然環境をいかして塩江温泉郷の魅力を向上し、観光客の増加を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
関係者会議開催回数	回	0	0	3	2	2
塩江地域イベント開催回数	回	0	0	4	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		塩江温泉郷観光入込客数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	65,000 70,655	68,000
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	インバウンド旅行者数が前年度に比べ5,197人と増加しており、目標値を大幅に達成している。			(目標達成度) 108.7%	(得点) 35点			
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)	(得点)			

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	280,267	483,285	227,148	732,747
(事業費)	[千円]	267,170	470,113	217,444	684,883
(職員人件費)	[千円]	13,097	13,172	9,704	47,864

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・塩江道の駅エリア整備事業に係る業務(繰越明許) ・塩江道の駅エリア整備事業に係る業務(現年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・72,967千円(繰越明許) ・144,477千円 	総額	217,444	
			特定財源	国	64,971
				県	0
				市債	130,800
				他	1,150
一般財源	20,523				
令和 7 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・塩江道の駅エリア整備事業に係る業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・684,883千円 	総額	684,883	
			特定財源	国	183,144
				県	0
				市債	247,200
				他	0
一般財源	254,539				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98%)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

塩江道の駅エリア整備事業の実施に当たり、関係機関等との調整が課題となっているが、連携強化や組織の横断的連携を図りながら、課題解決に努め、早期の完成を目指す。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

「塩江温泉郷観光活性化基本構想」に基づき、道の駅エリア整備等のハード施策と、独自コンテンツの提供等のソフト施策を連動させることで、効果の高い事業を行う。また、民間事業者による設計施工管理一括方式等を見据えた、PPP/PFI手法の可能性を探ることで、民間活力を活用した持続可能な管理運営体制の構築に向けた検討を進める。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	観光エリア振興室
	施策	観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2417
	取組方針	観光資源の掘り起こしと磨き上げ		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	屋島活性化推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	屋島活性化に向け、屋島の有する特性・価値を将来にわたり継承しつつ、市民を始め、広く屋島を訪れる人々に知ってもらうため、平成25年1月に策定した「屋島活性化基本構想」に基づく、具体的施策・事業を迅速かつ効果的に実施し、世界に誇れる本市のシンボルとなる屋島として再生を目指す。				
年度概要	屋島地域誘客促進事業 屋島地域施設等管理運営事業				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	屋島活性化基本構想

【事業の目的】

対象（何を）	屋島及び周辺地域
意図（どのような状態にしたいか）	「屋島活性化基本構想」に掲げた具体的施策・事業を、計画的かつ効果的に実施し、屋島を世界に誇れる高松市のシンボルとして再生する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
「屋島活性化基本構想」の事業のうち実施した事業数	事業	0	0	44	44	44
事業費ベースの進捗率	%	0	0	100	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
		屋島山上入込客数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	700,000 604,529	700,000	700,000
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	インパウンド及び国内旅行の需要は回復しているものの、目標値には届かなかった。			(目標達成度)	86.4%				
				(得点)	30点				
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
			目標値 実績値						
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				(目標達成度)					
				(得点)					

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	258,109	77,515	99,676	1,060,988
(事業費)	[千円]	228,173	47,407	80,291	1,048,744
(職員人件費)	[千円]	29,936	30,108	19,385	12,244

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	屋島地域施設等整備事業(明許繰越) 屋島地域誘客促進事業(現年) 屋島地域施設等管理運営事業(現年)	14,089千円 34,832千円 31,370千円	総額	80,291	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	2,600
				他	25,000
一般財源	52,691				
令和 7 年度	屋島地域誘客促進事業 屋島地域施設等管理運営事業	21,693千円 1,027,051千円	総額	1,048,744	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	1,004,500
				他	0
一般財源	44,244				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

「屋島活性化基本構想」に基づき、屋島を訪れる観光客のニーズ等に応じた、新たな価値や魅力を創成する各種取組を展開するとともに、山上・山麓間のアクセス上の課題整理を行った。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

屋島山上交流拠点施設の指定管理者と密に連携を図りながら、ソフト施策の充実を図る。特に、屋島が持続可能な観光地になるためには、屋島の有する特性・価値を将来にわたり継承し、適切な情報提供と環境整備をすることが必要である。